團 伊玖磨・作曲

管弦楽のための高梁川
初演発表会

倉敷室内管弦楽団

'80 5/31〈土〉6時30分開演

倉敷市民会館

主催／倉敷市・倉敷市教育委員会・高梁川流域連盟・倉敷市自主文化事業協会・倉敷室内管弦楽団

ごあいさつ

高梁川の恩恵をうけている流域諸都市では、古代吉備文化の伝統を継承して、地方色ゆたかに、華やかな芸術・文化活動がくりひろげられておりますが、倉敷市にはユニークな音楽図書館があり、倉敷市合唱連盟、倉敷室内管弦楽団、倉敷アマチュア音楽連盟等の定期公演など、クラシック、ポピュラー音楽活動はめざましいものがあります。

このたび、倉敷市自主文化事業協会、高梁川流域連盟が提唱して、母なる高梁川を称え、流域諸都市の連帯と調和ある文化興隆をねがい、現代に生きるわれわれの新らしい音楽として、画期的な、管弦楽のための「高梁川」を制定しました。

作曲は現代日本作曲界の大御所、團伊玖磨氏に依頼しましたが、團氏快心の作であり、演奏は定評ある倉敷室内管弦楽団により、音楽演奏会場としてはわが国屈指の倉敷市民会館大ホールで、本日盛大に初演発表会を開催することになりました。なお團氏の指揮により、直接作曲家の音楽を聴くことができますことは喜びにたえません。

高梁川のせせらぎが大河となって瀬戸内海へ注ぐ、美しい川の流れを歌い、中国地方の民謡の旋律をちりばめたこの曲が、多くの人々の共感と親しみを得、あらゆる機会に演奏されることを願ってやみません。

倉敷市自主文化事業協会　会長　**赤　木　元　蔵**

プログラム

ニュルンベルグのマイスタージンガー前奏曲……**ワーグナー**

交響曲第38番ニ長調〝プラーハ〟……**モーツアルト**

第１楽章　アダージョーアレグロ
第２楽章　アンダンテ
第３楽章　フィナーレ・プレスト

〈休　憩〉

管弦楽のための高梁川……**團　伊玖磨**

第１楽章　流れ・歌・踊り
第２楽章　子守唄・幻想曲

指揮　團　伊玖磨・菊池　東

演奏　倉敷室内管弦楽団

管弦楽のための「高梁川」作曲について

中国山脈に源を発して、新見・高梁・総社・倉敷を経て水島灘へ注ぐ高梁川―流域の諸都市の母なる川は、今日も美しく流れている。川は歴史と人々の生活を映しながら、ながい間、流域の人たちの生活の支えもしてきた。

川はあるときはやさしく、時には洪水により人々をおびやかせもした。しかし、そこに住む人々は高梁川を意識しながら生き続けてきたと思う。母なる川、それを憶うとき、洪水でさえもが大きな教訓であったのではなかろうか。

倉敷市自主文化事業協会・高梁川流域連盟から作曲依頼を受けて、流域を歩いたとき、まずわたしをとらえたものは、この歴史の深さと川の気品と美しさであった。大きな川は他にもたくさんあるだろう。しかしこれほどまでに美しく、そして人々と密接な関係を持ちつづけたものは、高梁川をおいて他にないと思う。

曲は２つの楽章にわかれている。せせらぎと上流の民謡で始まる第１楽章は、「流れ、歌、踊り」の副題を持つ。備中松山踊りの曲が、処々方々に形をかえながらあらわれ、流れは次第に大きくなって、海へ出る。

第２楽章は「備中子守うた」による変奏を伴なう幻想曲である。この旋律は、山田耕筰先生によって「中国地方の子守歌」として紹介され、全国に知られているが、この第２楽章には、本来の旋律をもとに、流域に住む人たちの心と、川を中心に現代に発展する力を画いた。

いよいよ管弦楽のための「高梁川」が、倉敷室内管弦楽団によって初演される。わたし自身感動をもって書きあげたこの曲が、多くの方々の胸に残り、川の流れのように演奏され愛されることを祈ってやまない。

昭和 55 年 5 月 5 日

團 伊玖磨

團　伊玖磨（だん・いくま）略歴

大正13年４月７日東京生まれ。
昭和20年　東京音楽学校（現芸大）作曲科卒業。以後作曲並びに自作の演奏に従事。
昭和26年　演劇「夕鶴」附帯音楽に対して毎日音楽賞。
昭和28年　オペラ「夕鶴」に対して毎日音楽賞、伊庭歌劇賞、山田耕筰作曲賞。
昭和32年　映画音楽「雪国」「メソポタミヤ」に対してブルーリボン賞。
昭和43年　合唱組曲「ディヴェルテイメント」に対して芸術祭賞・文部大臣賞。
昭和47年　オペラ「ひかりごけ」に対して芸術選奨・文部大臣賞。
昭和43年　随筆「パイプのけむり」「続パイプのけむり」で読売文学賞。
昭和41年　戦後20年間の作曲活動に対して日本芸術院賞を受ける。
昭和48年　日本芸術院会員となる。

作品　オペラ「夕鶴」「ひかりごけ」「ちゃんちき」等５曲。
交響曲５曲、他歌曲、合唱曲、劇音楽等々作品多し。

倉敷室内管弦楽団 プロフィール

文化都市倉敷にふさわしい、バロックから古典を中心とした演奏を主とするユニークな楽団として、昭和49年12月に誕生しました。

発足以来、美しい音色と高度な技術には定評があり、フルートの巨匠ジャン・ピエール・ランバル氏との共演を始め、ヴァイオリンの和波孝禧氏、ピアノの深沢亮子氏、チェロの安田謙一郎氏等と共演するなど、年１回の定期演奏会で着実な活動を続けています。

また、岡山県を代表する楽団として、合唱団との共演の回数も多く、オペラ出演、著名な演奏家との特別演奏会を催すなど、多彩な演奏活動に、市民は大きな期待をかけています。

菊池東は、室内管弦楽団発足以来の常任指揮者で、広大室内合奏団の指揮者、倉敷音楽協会の理事として、倉敷を中心に音楽活動を続けています。

倉敷室内管弦楽団出演者

団長	小山 裕章	常任指揮者	菊池 東
運営委員長	田辺 幹夫	コンサートマスター	守屋美枝子
顧問	枡本 辰郎		

1st Violins：
◎守屋 美枝子
◎佐藤 真理子
高橋 久子
中桐 佐知子
茂成 陽子
陶山 靖彦
三好 淳子
渡部 幸子
越宗 宣子
岡崎 ひ佐子
大江 恭子
菊池 東

2nd Violins：
◎稲田 真理
坂本 恵理
安藤 律子
吉信 雅庸
池上 俊昭
井川 孝志
二木 一元
三崎 めぐみ
岩崎 智美
鳴川 洋子

Violas：
◎黒住 彰夫
中野 隆重
友野 良一
山本 延代
谷本 道代
大森 昌恵
安藤 智代子
原 明子
水田 圭子

Violoncellos：
◎枡本 辰郎
田辺 幹夫
西田 毅雄
森田 真弓
光延 勢吾
津下 典子
西村 洋子
中野 啓子

Contrabasses：
森田 博之
谷 一尚
守田 友子
山本 忍
藤井 正勝

Flutes：
森本 悦子
坂口 充倫
若槻 律夫
安達 裕美子

Oboes：
◎有道 淳
角田 容子

Klarinettes：
高杉 玲子
岡本 あき

Fagotts：
◎稲田 裕彦
大守 利紘

Horns：
◎吉市 幹雄
新田 厚
西崎 大修
福田 博満
乙倉 博史

Trompetes：
◎中桐 実
森田 裕三
岡本 卓也

Tronbones：
佐藤 道郎
佐藤 正俊
谷口 一夫

Tuba：
森峰 茂樹

Piano：
松岡 ちよ

打
西岡 啓治
大森 節子
陶山 京子
友光 美貴子

（◎印 パートリーダー）

井上直幸ピアノリサイタル

— 川の流れのような清冽さ　豪放さと繊細さを併せもつ陰影に富む彫りのふかい造形 —

バッハ
パルティータNo.2ハ短調BWV826
ハイドン
変奏曲ヘ短調
ベートーヴェン
ソナタNo.8ハ短調Op.13「悲愴」
シューマン
子供の情景Op.15、ちょうちょうOp.2

1980
6/20(金)午後6時30分
倉敷市民会館
S：¥1,500 A：¥1,000 B：¥500
主催・倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市自主文化事業協会

倉敷市自主文化事業協会・倉敷市民会館内 TEL 25-1515